

【中学生議会 部長答弁様式2】

質 問 区 分	教育グループ	議 員 名	山口愛花里 議員
発言順(通し番号)	NO:11	所管課・室名	文化課

質 問 事 項	文化を振興し魅力的なまちづくりを
具体的な内容	市民が幼い頃から文化に触れられるように、安曇野の文化を題材とした絵本などを作って教育機関を通して読んでもらったり、各家庭に安曇野の文化をまとめた小冊子を配布したりすることなどに取り組んでもらいたいと考えるがいかがか。

【教育部長答弁】

○安曇野の文化を題材にした絵本の制作と読み聞かせについて

はじめに山口議員の質問にお答えします。

「安曇野の文化を題材にした絵本の制作と読み聞かせ」の提案をいただきました。

・市では絵本は作っていませんが、絵本の題材になるような「資料」は沢山作ってきました。最近では、安曇野検定のために作られた『安曇野の郷科書』…この郷科書の「郷」は「教える」ではなく、郷土の「郷」を使っています。ジュニア検定用の『未来につなぐふるさと安曇野』もあります。『安曇野風土記』のように、安曇野市の「水」にゆかりの場所を網羅した本も作っています。

・私の住む明科荻原地区では、このような資料を使って「荻原の昔と今を再発見」という本を作りました。その中に掲載された「荻原の民話と伝説」を、子どもたちや地域の人たちが「紙芝居」を制作して敬老会のときに披露したところ、お年寄りたちにとっても喜ばれました。作った子どもたちも温かい気持ちになりました。

・こうすれば文化の裾野が広がっていきます。絵本作りや読み聞かせも、まずは地域や仲間ではじめてみてはいかがでしょうか。

## ○各家庭に安曇野の文化をまとめた小冊子を配布したらどうか

・文化を広める手段として、小冊子の配布をご提案いただきました。各家庭に冊子を配布するとなると費用もかかり、中にはすぐにいらないと判断してしまう人もいますので、このような本は必要な部数だけ作って、学校や図書館に置いたり、教育委員会や博物館などで販売したりしています。

・これまでに安曇野の歴史や文化をまとめた本や資料が何冊も刊行されています。中学生も執筆者になれる『安曇野文化』という文化雑誌が年4回、刊行されていますし、『あづみ野 堀金の民話』のような地域ごとの本も出版されています。その多くが学校図書館や各地区の図書館、博物館などに置いてありますので、ぜひご覧ください。

・市民の皆さんには、それらを有効に活用していただき、郷土史の研究や生涯学習の活動が深まることを期待したいと思います。

【中学生議会 部長答弁様式2】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	谷川弘樹 議員
発言順(通し番号)	NO:12	所 管 課 ・ 室 名	図書館交流課

質 問 事 項	図書館利用について
具 体 的 な 内 容	<p>利用者が減少すると思う原因の一つは情報機器の発達 があげられる。</p> <p>携帯などで必要な情報が得られるので、図書館に行か なくなる人が増えると思う。</p> <p>もっと多くの人に図書館を利用してもらうために図書 館の情報をプリントにして地域の学校や公共施設、家庭 などに配布すれば図書館に関心や興味を持っていただ けると思うがいかが。</p>

【教育部長答弁】

続きまして谷川議員のご質問にお答えします。

図書館内にはお勧めの本や新しく入荷した本の紹介コーナーがあり、毎月季節や話題に合わせた企画展を実施しております。広報や図書館だより、図書館のホームページでも本やイベントなどの紹介を行っております。

図書館だよりの「ラ・ブック」は毎月、小中学校にもお届けしておりますが、今まで以上に図書館に係る資料やプリントを小中学校や公共施設などにも配布するなど、より一層の情報発信に取り組んでまいりたいと思います。

新たな取り組みとして、本年5月から読書通帳の配布を始めました。図書館から借りて読んだ本の情報を100冊まで記入することができます。

100冊に到達した方には記念品を贈呈しております。既に3冊目に到達している方もいらっしゃいます。

毎年9月に開催している図書館フェスタ、図書館川柳の募集、夏休みなどの課題図書に選ばれている本の案内、お正月の「本のお年玉」、各種講演会など中央図書館・各図書館でも年間を通して様々な企画を行っています。

平成29年度には5地域すべてに図書館を中心とした交流学习施設が整備されますので、今後は、学校を含めた図書館ネットワークづくりをすすめ、誰もが、いつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、まちづくりに取り組んでまいります。

平成20年度	349,298冊
平成21年度	575,322冊
平成22年度	734,436冊
平成23年度	776,601冊
平成24年度	760,503冊
平成25年度	768,685冊
平成26年度	743,770冊

【中学生議会 部長答弁様式2】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	古市恭介議員
発言順(通し番号)	NO:13	所 管 課 ・ 室 名	学校教育課

質 問 事 項	生徒への学習支援と地域学習実施の取り組みを
具体的な内容	放課後の時間に公民館や図書館といった公共の施設で、元教師の方に来ていただき、指導を行ってもらい、学力の向上につなげたり、地域の方を講師に安曇野の文化、昔話、歴史、遊び、自然などを学ぶ地域学習をすることで安曇野に愛着がわき、地域の活性化にもつながると考えるがいかがか。

【教育部長答弁】

続きまして、古市議員のご質問にお答えします。

- ・ 学校では、学習内容をその学年のうちに指導しなくてはならない内容が決まっているため、それぞれの生徒の理解に合わせて授業を進めていくことは困難な状況があります。
- ・ そこで、小学校4年生以上を対象とした放課後学習室を10小学校で毎週水曜日に開催し、現在156名の児童が学習の支援を受けています。

また、スクールサポート事業において学校と家庭、地域が連携を図り特色ある学校づくりを進めています。

- ・ この事業では、個人や団体にボランティア登録をしていただき、学習支援活動に加え、総合的な学習の時間における地域に伝わる伝統文化、伝承遊び等を学ぶための支援をしていただいております。

各中学校ではこの事業の一つとして、生徒の皆さんに高い志を持ってもらおうと「立志塾」の学習も取り入れています。

今年度は、太鼓や郷土料理、地域の産業や福祉など多くの体験的な地域学習の指導をしていただいております。児童生徒の皆さんも学習に充実感を持ち、ボランティアの方々もやりがいを感じられる共に学ぶ学習となっています。ある中学校では、基礎的な学習内容を深めるための放課後学習支援活動も行っています。

これらの周知に一層取り組むと共に、スクールサポート事業の発展による、信州型コミュニティースクールの構築を図り、地域とともにある学校づくりを進めていくことにより、議員がご提案のとおり、安曇野市の「歴史、文化、伝統」を知り、安曇野市に愛着を持ち、地域に関わって活動することを通して、地域が活性化していくことを願っています。

【中学生議会 部長答弁様式2】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	酒井並木 議員
発言順(通し番号)	NO:14	所管課・室名	学校教育課

質 問 事 項	学校給食の食べ残しを減らす取り組みについて
具 体 的 な 内 容	食材の好き嫌いに対する工夫、好きなものに切り替える工夫などはいかがか。また、安曇野の食材を使用し地域の良さを知ってもらうことにより、愛着がわき食べてもらえると思うがいかがか。

【教育部長答弁】

続きまして酒井議員のご質問にお答えします。

- ・ 地域の食材を味わっていただこうと給食センターでは、原則として毎月19日を「安曇野の日」として、安曇野の食材をできるだけ多く取り入れた献立を提供しています。

26年度から提供を始めた中村屋カリーは、安曇野市にゆかりのある新宿中村屋さんの協力を得て、安曇野産食材をなるべく多く取り入れています。他にもつぶら揚げ、信州サーモン、安曇野産豚肉を使った献立を提供しています。

今年はおさびコロッケのキャラクターを2年ぶりに変更し、10月の「安曇野の日」にお披露目となったところです。このコロッケは市販されておらず、安曇野産のジャガイモ、玉ねぎ、おさび、豚肉を使用しています。

また、普段の献立に関しましても、できる限り地元のJA・直売所などから野菜等を購入し、安曇野の四季に合わせた献立を提供しています。

- ・ 苦手なものを食べられるようにする工夫ですが、給食センターでは児童生徒の皆さんが苦手と思われる食材を少し小さくするとか、皆さんの好きな献立、たとえばカレーに入れるなどしています。

- 苦手なものから好きなものへの食材の変更ですが、ある人が苦手でも他の方は好きだということもあります。  
また、いろいろな食材をバランスよく味わっていただきたいと願っており、アンケートを実施して、その結果を受けて、一般的に好きそうな食材へ変更することは難しいと思います。

給食センターでは各学校から希望を取って実施している、希望献立では、児童生徒の皆さんの意見をなるべく反映するよう努力をしています。

- ぜひ色とりどりの組み合わせの献立を味わってください。  
早寝、早起きをし、朝ご飯もしっかり摂り、しっかり運動もして丈夫な体を作っていただきたいと思います。

学校給食の回数は、年間200日くらいの提供ですので、一人が1年間で食べる食事回数の2割程度です。

ご家庭での家族との食事も是非、大切にしていきたいと思います。

学校給食は栄養の摂取をする場だけではなく、仲間とのコミュニケーションを取りながら、楽しく食べて、食べ残しを減らしていただければと思います。



【中学生議会 部長答弁様式2】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	滝澤 文 議員
発言順(通し番号)	NO : 15	所 管 課 ・ 室 名	学校教育課

質 問 事 項	社会体育について
具体的な内容 (質問取事項)	<p>いろいろな大会に参加して経験を積み、安心して保護者の方にお手伝いをしていただくためには、市として部活動に対するルールや仕組みなどをさらに整えていくことが、生徒が部活動にしっかり取り組み、保護者が積極的に部活動に関わり、先生方に一方的な負担をかけることなく安曇野市の中学校の部活動が充実していくと思うがいかがか。</p>

【教育部長答弁】

続きまして、滝澤議員のご質問にお答えします。

中学校の部活動についてですが、既に冬の時期の部活動の時間を確保するため下校時刻を例年より遅く設定し、生徒の皆さんや保護者の皆さんに通知している学校もあります。

今後、下校時の安全確保につきましては殊更、保護者の皆様のご協力を仰ぐこととなります。

保護者の皆さんの部活動への関わり方につきましては、今までのように保護者の代表の方が責任者となり練習や大会に参加することはありませんので、責任の所在という点では安心だと思えます。お手伝いについて規制する内容ではありませんので、今迄のように支援していただきたいと思います。

市教育委員会では10月初旬、部活動に関するアンケートを7中学校にお願いしました。その中では、全ての学校が、「部活動の延長として行われていた社会体育が部活動に一本化できた」という回答でしたが、部活動が延長された分、安全な下校や教員の負担

増大の心配もあります。外部指導者のお力をお借りすることなどを更に考えてまいりたいと思います。

アンケートからは、新たに中学生が参加している体育協会やスポーツ少年団、競技団体への加入もあり、休日の教職員の負担の軽減を図りながら、地域で中学生のスポーツ活動を支える様子も見えてきました。

部活動の方針については、年度毎、各校の実態とともに生徒の生活習慣・体力・競技力等を総合的に把握して、市教育委員会・市校長会・市中学校体育連盟の三者により見直しを図ることになっております。

顧問の先生を通し、生徒の皆さんの思いも受け止めながら、各校での部活動運営委員会で内容や課題を掴み、保護者の皆様や外部指導者の関わり方等、各校の具体例から検討したいと思います。

部活動を含め、中学生期のスポーツ・文化活動の充実につきましては、学校現場との連携は勿論の事、体育協会、競技団体、文化団体等との連携を一層図ってまいりたいと思います。